

哲学について

これからの宇宙時代を生き抜くための哲学を考えてみよう。一般に哲学とは、物事の本質や根源を、あらゆる角度から深く考え、個人や集団が生きてゆくための教義を編み出す学問といえる。

古代ギリシャの哲学は、自然現象や生命現象を、観察力や想像力を働かせて、論理的に説明することであった。自然現象に対する当時の観測・測定技術は、現在に比べると極めて貧弱であったが、彼らの空想力や直感力は自由奔放で、驚くべき先見性のある宇宙観、生命観、物質観を編み出していた。当時の哲学者たちは、四元素説を唱え、すべての自然現象は「空気・水・大地・火」の組み合わせで説明できると考えた。自然環境の「乾・湿・冷・熱」は先に示した四元素の組み合わせで説明できるとした。今から2300年も前に、自然環境と生命現象に軸足を置いた、素朴で平易、且つ普遍性のある哲学の世界が存在していたのである。

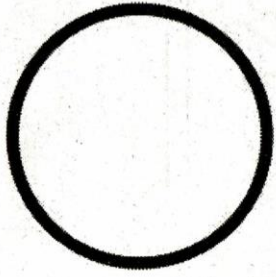


図 この図のイメージを漢字1文字で表すと・

- 孔空圏
- 完満宇
- 管宙周
- 環胞生無
- 球粒境心
- 円玉界命

一方、人類は心の平安を求めて、生活基盤の軸足を精神論に移し、信仰の世界を切り開き、様々な宗教を興し、文明は複雑化の道へ迷い込んだ。哲学も同様に複雑化の道に入りこみ、「存在論・論理学」・「認識論」・「倫理学」・「美学」など細分化された領域で難解な議論が展開され、一般庶民の生活感覚とは乖離していった。

およそ3000年前の近代科学の誕生、さらに、凡そ100年前の量子力学の発見により、学問の細分化が進み、ネットワークの増殖による情報の洪水の中で、近年は、物事の本質が見え難くなっている。科学、政治、経済など、文明の根源を担う分野で、物事の真相を照らす哲学的思考が退化してきている。

現在の社会では、本来の哲学が保持すべき素朴で簡単・明瞭、かつ本質を射抜く理論に裏打ちされた思想が求められている。即ち、これからの文明には、生命現象を宇宙的視野で考察し、学問の根幹である「物理学」・「化学」・「生物学」・「心理学」の核心を繋ぐ哲学が求められているように思える。

現在の人類は、既に文明の未来が電子雲の中に秘められていることを理解し、地球上の全ての生命が原子レベルで循環する運命共同体であることを知っている。我々は、新しい宇宙生命哲学をこの地球上に創出する絶好の機会に遭遇していると考える。さあ、みんなで力を合わせて、この惑星の上に新しい生命のパラダイスを作る事業を始めませんか。